



# レッドブル・フォイリング・ジェネレーション 2015 レース公示

共同主催 : RED BULL EXTREME SAILING (Anton Wallner Strasse 7 5700 Zell am See, Austria)

和歌山県セーリング連盟

協力 : NPO 和歌山セーリングクラブ

期日 : 2015年4月15日(水)-19日(日)

開催地 : ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点(和歌山セーリングセンター)

ナショナルレガッタ開催国・開催概要

日時	開催国・開催場所
4月15日-19日	日本(和歌山セーリングセンター)
6月24日-28日	イギリス(ウェイマウス&ナショナルセーリングアカデミー)
7月8日-12日	イタリア(マルチエージネ)
8月5日-9日	スウェーデン(MSS)
9月2日-6日	デンマーク(オーフス)
9月23日-27日	ロシア(サンクトペテルブルクヨットクラブ)
10月17日-21日	フランス(未定)

## 1 規則

- 1.1 本レガッタは『セーリング競技規則』に定義された規則を適用する。
- 1.2 フライングファントムクラスルールを適用する。
- 1.3 安全規則及び要件を適用する。
- 1.4 ポートブランディング及び広告要件を適用する。
- 1.5 イベントカレンダーが適用される。
- 1.6 使用言語間で矛盾が生じた場合には、英文が優先する。

## 2 広告

- 2.1 全てのブランディングや広告は、陸上、海上に関わらず、RED BULL EXTREME SAILINGによって制限される。
- 2.2 次のように競合他社の広告が制限される。

RED BULL EXTREME SAILINGによって事前に承認を得た場合、競技者の衣類の指定された場所に、チームのブランドや広告を表示することができる。承認を得た広告以外の表示は許可されない。この広告の表示に関わる費用は、それぞれのチームが負担するものとする。

- 2.3 艇は、主催団体により選択され支給された広告を表示するよう要求される。

### 3 参加資格および申込みの方法

- 3.1 チームは添付のフォームによりエントリーすることができる。
- 3.2 参加申込期限に遅れた場合、主催者の裁量により受け付けられる場合がある。
- 3.3 それぞれのイベントには、最大 32 チームが参加できる。

### 4 レースフォーマット

レースは 4 艇によるノックアウト方式で行われ、上位 2 艇が次のラウンドに進出し、ファイナルラウンドの勝者が、このシリーズの優勝チームとなる。それぞれの国で行われたイベントの優勝チームは、それぞれの国の優勝チームによる、ファイナルシリーズに進出することができる。

### 5 参加料

- 5.1 それぞれのチームの参加料は 33,000 円である(イベント期間中の宿泊費・食費込)。
- 5.2 参加するチームの、ダメージデポジットは 66,400 円である。ダメージデポジットは和歌山セーリングクラブにより立替えて支払われる。競技者の責任により艇を破損した場合、デポジットを上限とした修理代を支払わなくてはならない。
- 5.3 参加料及びダメージデポジットの支払いは、インビテーションカードに記される主催者に行わなくてはならない。

### 6 競技者

- 6.1 競技者数:ボートの乗員は 2 名でなければならない。
- 6.2 年齢:それぞれの競技者は 1995 年 1 月 1 日から 1998 年 12 月 31 日の間に生まれた 16 歳から 20 歳でなければならない。
- 6.2 国籍:それぞれの競技者は、それぞれのイベントが行われる国のパスポートを保有していなければならない。
- 6.3 性別:ボートの乗員の性別は男子、女子、ミックス(男女混合)問わない。

### 7 日程

- 7.1 プログラムに特別な記載がない限り、それぞれのイベントは 3 日間のレース日程により構成される。(RD はレース日の略)
  - 4 月 17 日(金) RD-1 予選ラウンド
  - 4 月 18 日(土) RD-2 1/4 及びセミファイナル
  - 4 月 19 日(日) RD-3 ファイナル
- 7.2 練習期間:全てのチームに練習する機会が与えられる。
- 7.3 各レース日の予告信号予定時刻は 10:00 である。

### 8 競技艇

競技艇は主催者により準備される。

### 9 帆走指示書

帆走指示書は少なくともレースの始まる最初の日の 20 日前までに準備される。

### 10 ペナルティー方式

- 10.1 規則 44.1 を変更し、『2 回転ペナルティー』を『1 回転ペナルティー』に置き換える。
- 10.2 ISAF アデンダム Q がその他の指示よりも優先して適用される。

### 11 イベント予定

- 11.1 以下は予定されるイベントプログラムである。(PD は準備日、RD はレース日の略)
- 11.2 4月13日(月) PD-1 コンテナ到着日
- 11.3 4月14日(火) PD-2 会場設営、ボート艀装
- 11.4 4月15日(水) PD-3 レースオフィスオープン、受付、艇長会議、練習、トレーニングセッション
- 11.5 4月16日(木) PD-4 練習
- 11.6 4月17日(金) RD-1 予選ラウンド
- 11.7 4月18日(土) RD-2 1/4 及びセミファイナル
- 11.8 4月19日(日) RD-3 ファイナル
- 11.9 4月20日(月) 片付け

## 12 支援艇

支援艇は主催者により準備された旗を掲揚しなければならない。

## 13 バース

ボートハーバーにある間、指定された場所に保管されなければならない。

## 14 無線通信

緊急の場合を除き、レース中の艇は、無線送信も、すべての艇が利用できない無線通信の受信(主催者により用意されたものは除く)もしてはならない。またこの制限は、携帯電話にも適用される。

## 15 賞

- 15.1 賞はそれぞれの国で開催されたイベントの勝者に贈られる。シリーズの勝者にはフォイリングジェネレーショントロフィーが贈られる。
- 15.2 優勝者には、2016 年に開催される(開催国未定)ワールドファイナルの出場権が与えられ、その大会に出場するための渡航費、宿泊費及び滞在費(2名のセイラー+1名の保護者分)が主催者によりサポートされる。

## 16 責任の否認

このレガッタの競技者は自分自身の責任で参加する。規則 4[レースすることの決定]参照。主催団体は、レガッタの前後、期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

## 17 保険

各参加艇は、インシデント毎に最低 500,000 Euro を補償するか、また同等の、有効な第三者賠償責任保険に加入していなければならない。

## 18 問い合わせ先

日本大会に関するお問い合わせは以下までお願いします。  
 ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点(和歌山セーリングセンター)  
[info@wakayama.sailing.org](mailto:info@wakayama.sailing.org)

## ハーバー及びレースエリア

※レースコースはレースインストラクションと同時に発表いたします。

